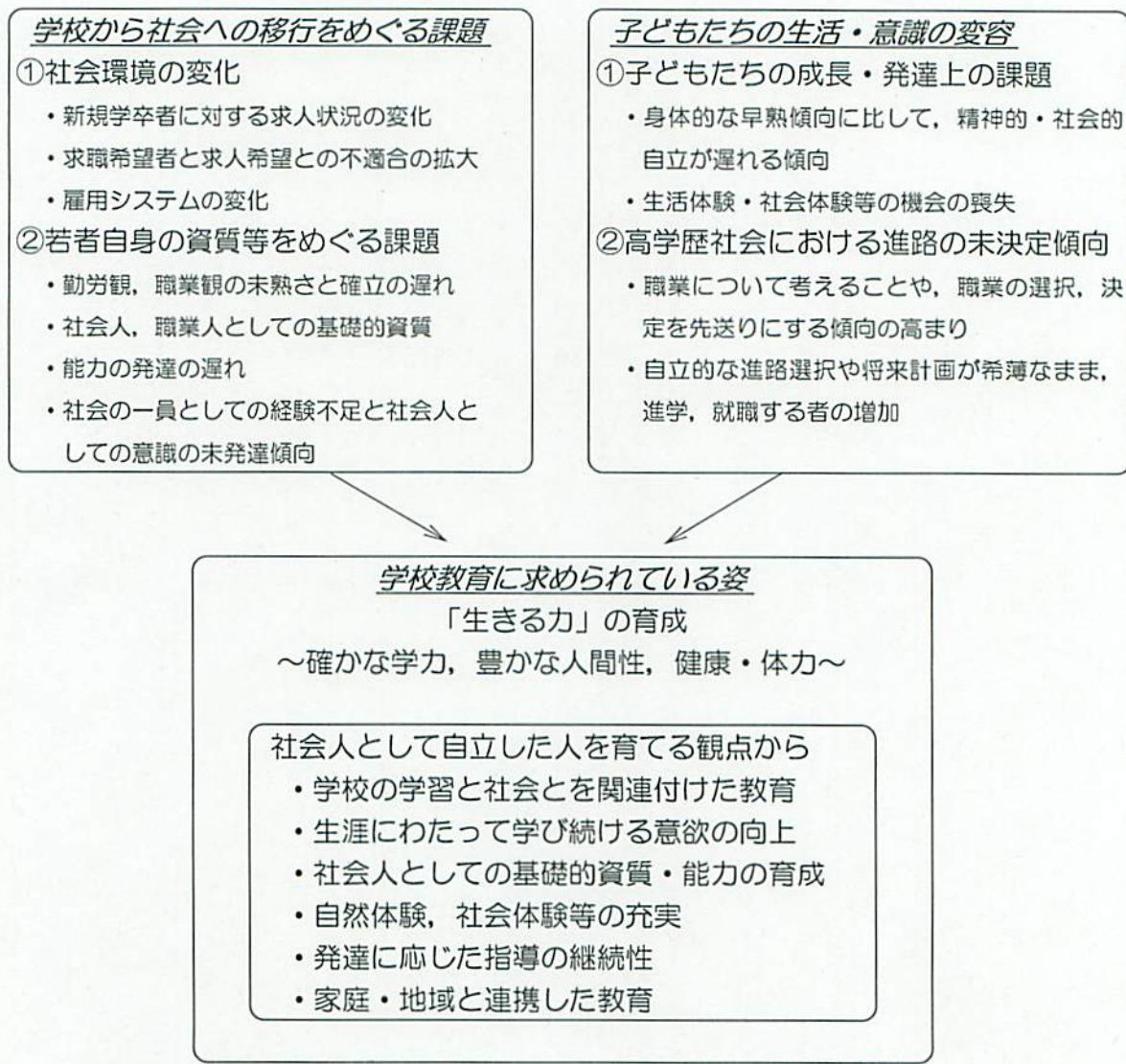


## 1 アンケートを実施するにあたって

### (1) キャリア教育が求められている背景



### (2) キャリア教育で培う力

#### 「4領域8能力」から「基礎的・汎用的能力」へ

##### 4領域8能力

###### 人間関係形成能力

- 自己の理解能力
- コミュニケーション能力

###### 情報活用能力

- 情報収集・探索能力
- 職業理解能力

###### 将来設計能力

- 役割把握・認識能力
- 計画実行能力

###### 意思決定能力

- 選択能力
- 課題解決能力

##### 基礎的・汎用的能力

###### 人間関係形成・社会形成能力

「人間関係形成・社会形成能力」は、多様な他者の考え方や立場を理解し、相手の意見を聽いて自分の考え方を正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他人と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力である。

###### 自己理解・自己管理能力

「自己理解・自己管理能力」は、自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保つつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ばうとする力である。

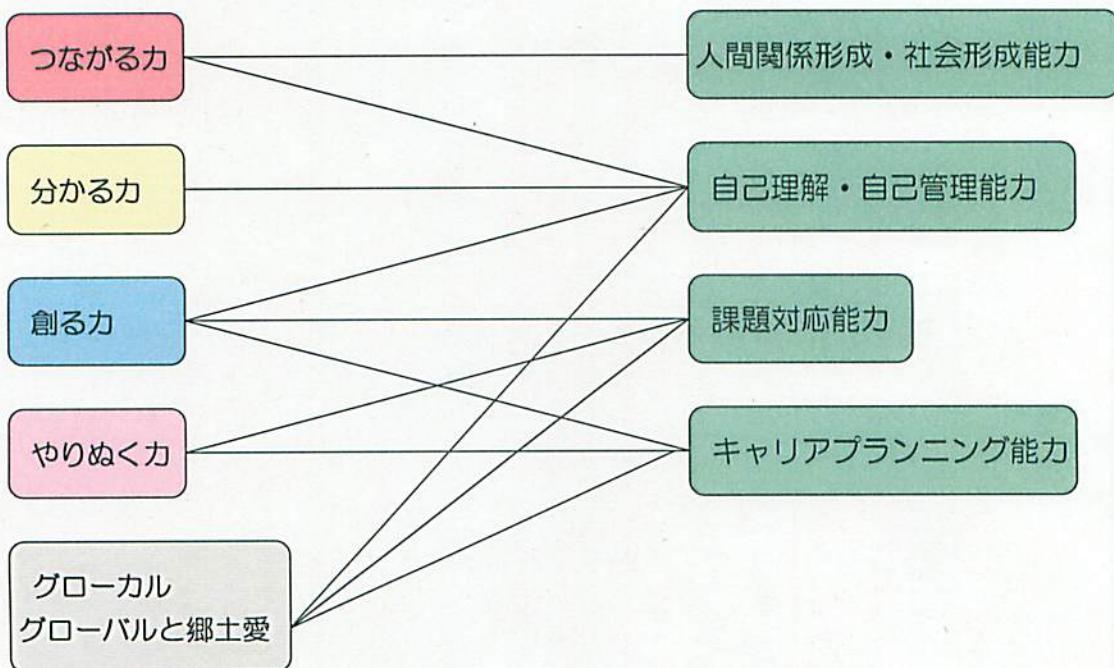
###### 課題対応能力

「課題対応能力」は、仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力である。

###### キャリアプランニング能力

「キャリアプランニング能力」は、「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割の関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方にに関する様々な情報を適切に取扱選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力である。

前ページのように、中央教育審議会はキャリア教育の新たな姿として、基礎的汎用的能力を規定しているが、非常に分かりにくい。そこで、今回のアンケートでの意識調査を行うときに分かりやすい形で、次の5つの力に大別した。



それらの力についての児童生徒の意識調査と保護者の意識調査を平成26年2月に下記の要領で行った。

#### 【実施対象】

##### ① 児童生徒

平成25年度 日向市内の小学校4、5、6年生、中学校1、2年生  
平成26年度以降 小学校5年生、中学校2年生

##### ② 保護者

小学校2年生、小学校5年生、中学校2年生の長子の保護者

#### 【質問項目】

##### ① 児童生徒用（別紙1）

つけたい力（測りたい力）を5つ設定し、一つの力につき4項目の質問で測る。

質問番号 1～4 つながる力

質問番号 5～8 分かる力

質問番号 9～12 創る力

質問番号 13～16 やりぬく力

質問番号 17～20 グローカル（グローバルと郷土愛）

##### ② 保護者用

質問番号 1～2 学校教育と社会とのつながり

質問番号 3～5 進路決定で重視するもの

質問番号 6 将来の就職への意識

質問番号 7～8 家庭での日常生活や将来についての対話